

## 教科書編集便り

今号の特集では、「書くこと」について取り上げました。そこで、今回は、弊社教科書の「書くこと」教材にまつわるちょっとしたほれ話を紹介したいと思います。

### 教科書からの広がり① 「おもしろいもの、見つけた」(三上)

「おもしろいもの、見つけた」は、自分が見つけた「おもしろいもの」についての紹介文を書き、友達に知らせるという教材です。作例中にある、動物の写真のついたマンホールのふたをきっかけに、身の回りのマンホールのふたに目が向くようになったという先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、このマンホールのふたですが、実は国土交通省の「第十四回(平成十七年度) いきいき下水道賞」を受賞しています。このマンホールのふたがある神戸市では、平成九年から、「神戸マンホールインフォメーション事業」が行われています。これは、マンホールのふたを広告媒体としてさまざまなもののPRを行うというもので、そのつに神戸市立王子動物園のジャイアントパンダのマンホールもあります。そして、そのふたが弊社教科書に取り上げられたことを受け、この賞の受賞となったのだそうです。

「いきいき下水道賞」とは、下水道に関する国民の理解・関心を深めるために、「見える下水道」事業に向けた取り組みとして特に優れたものを表彰し、広く紹介するものだそうです。特徴あるマンホールのふたが弊社教科書に掲載されたことで、子どもたちがマンホールというものの、ひいては下水道の役割に関心をもつようになることを期待しての受賞なのだろうと思います。

## お知らせ

### 研究会のご案内

平成二十年度愛知県東海市教育実践総合発表会

開催日 平成二十年十一月六日(木)～二十日(木)

会場 愛知県東海市の小学校十二校・中学校六校

テーマ 「新しい授業改革に挑む」

中学校区ごとのテーマを切り口に、子どもたちを見つめ、教材をひもとき、よりよい授業を築き上げようとする教育実践発表会です。詳しい内容、参加申し込みについては、左記までお問い合わせください。

連絡先 東海市教育委員会 学校教育課

TEL 〇五二(六〇三)二二二一

E-mail gakkyou@city.tokai.jp

<http://www.city.tokai.aichi.jp/~kyouiku/kyouiku.html>

京都市立御所南小学校 研究発表会

開催日 平成二十年十一月二十日(木)

十時半～十七時

テーマ 小中一貫教育コミュニティ・スクール教育研究発表会

―教科を貫く読解力の育成をめざして―

内容 公開授業(各教科、新教科「読解」、総合的な学習)

講演 文部科学省初等中等教育局教科調査官 井上 一郎

連絡先 京都市立御所南小学校

TEL 〇七五(二二三)〇一四八

FAX 〇七五(二二三)〇一四九

編集部では、この教材がこのような形で注目されることになるとは予想もしていませんでした。そのため、受賞の報を耳にしたときには、驚くと同時に教科書という媒体の可能性の大きさをあらためて感じるようになりました。

### 教科書からの広がり② 「生活を見つめて」(四下)

少し形は違いますが、教科書が学校現場以外で用いられた出来事がありました。それは、日本外来小児科学会の学会誌「外来小児科」第十巻第号(平成十九年三月発行)に、論文の書き方のモデルとして「生活を見つめて」が掲載されたことです。

「生活を見つめて」は、生活の中で疑問に思ったことの中からテーマを決め、アンケート調査などを行い、報告文にまとめる学習を行う教材です。この教材に示した手順が医学論文を書く際にも有効であるとして、取り上げられました。掲載誌では、紙面がそのまま引用され、教科書に示した手順や報告文の組み立てに沿いながら医学論文の書き方が解説されています。

教科書が、教室や子どもたちの手を離れてもその役割を果たす場があることを知り、たいへん嬉しく思いました。

平成十七年度版の教科書が使われ始めて今年で四年目。この間、こうした教科書にまつわる小さな出来事も、一つ二つと増えてきています。先生方のご実践の積み重なる一方で増えていくこうした出来事も、またご紹介していきたいと思っています。

## 「言語教育振興財団」研究助成金 一般公募

言語教育(国語教育・外国語教育等)の充実・発展を図るために、優れた研究開発を行う団体又は個人に対して助成します。

### ◇助成内容

①言語教育の内容・方法に関するもの(教育内容・方法部門)

②言語教育教材の質的向上に関するもの(教材部門)

③教育機器を利用した言語教育の在り方に関するもの(教育機器部門)

### ◇研究期間

平成二十二年四月～二十二年三月(原則二年間)

### ◇応募資格

言語教育(国語、外国語、日本語等)に関して研究開発を行う教員  
教育開発を行う小・中・高等学校・大学・教育研究団体

### ◇助成件数及び金額

助成件数は八十件まで。助成金額は二件につき二十万～五十万円

### ◇応募方法・締め切り

・所定の申請用紙に記入の上、研究開発活動についての企画書又は実施した実践報告書等の参考書類を添えて、平成二十年十二月二十五日(木)必着で、当財団事務局に郵送。  
・申請用紙を希望される方は、直接又は返信用封筒を同封の上、当財団事務局までお申し込みください。  
・この応募要項については、都道府県教育委員会等推薦の場合も同様に取り扱います。

### ◇決定・発表

当財団「選考委員会」にて選考を行い、選考結果を平成二十二年二月末までに通知。平成二十二年三月末に銀行振り込みで交付します。

### ◇問い合わせ先

財団法人「言語教育振興財団」事務局

〒一四一・〇〇二一 東京都品川区上大崎二・十九・九

TEL 〇三(三四九三)七三四〇

FAX 〇三(三四九三)二二七四

